

TOPPAN



TOPPAN STORY

トッパン・ストーリー

Vol.

97

第176期 中間株主通信 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

CONTENTS

連結財務ハイライト	2
株主の皆さまへ	3
特集	4
TOPPAN 6months	6
セグメント別概況	8
株式情報・会社概要	10
株主メモ・Information	11

連結財務ハイライト

1株当たり株主配当金 〔中間〕

20円

(年間40円予定)

中間配当金につきましては、1株当たり20円とし、年間では40円の配当を予定しています。

詳細は、IR情報ウェブサイトをご覧ください。



<https://www.toppan.co.jp/ir/>

■ 第2四半期累計 ■ 通期

■ 売上高

7,190

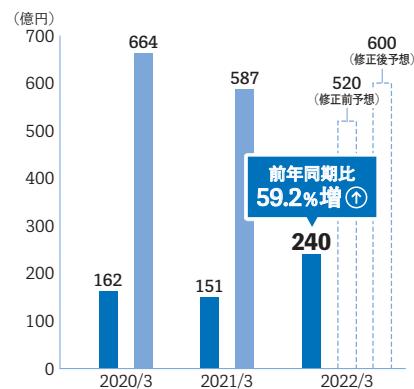
億円



■ 営業利益

240

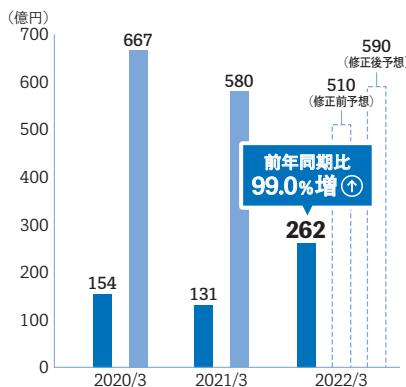
億円



■ 経常利益

262

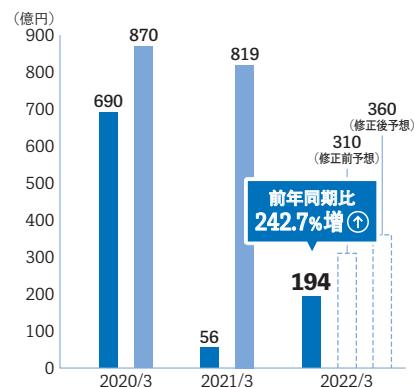
億円



■ 親会社株主に帰属する 当期純利益

194

億円



※ 2021年5月12日に公表しました2022年3月期通期連結業績予想を修正しました。

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第176期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)のトッパングループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気の持ち直しが期待されるものの、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人消費や企業活動の停滞、またデジタルシフトによるペーパーメディアの減少など、既存印刷事業は厳しい経営環境にありましたが、一方、オンライン需要の増加や環境衛生意識の高まりなど、人々の生活様式の変化に伴う新たな需要も生まれています。

このような環境のなかで当社グループは、中期経営計画のもと、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに、「事業ポートフォリオの革新」「経営基盤の強化」「ESGへの取り組み深化」という3つの重点施策を実行するとともに、安定した財務基盤を確保しながら、新規事業では積極的に経営資源を投入し、既存事業では技術開発強化やコスト削減など、競争優位

性の確立を推進してまいりました。また、「TOPPAN SDGs STATEMENT」に基づき、SDGsへの貢献に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.8%増の

7,190億円、営業利益は59.2%増の240億円となりました。また、経常利益は99.0%増の262億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は242.7%増の194億円となりました。なお、中間配当金は1株当たり20円とし、年間配当金は40円を予定しております。

新型コロナウイルス感染拡大を機に人々の生活様式や価値観が大きく変化し、また社会のデジタル化も加速しています。当社グループはこうした社会の変化を着実にとらえ、事業の変革を図るとともに、「社会的価値創造企業」をめざして企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年12月



代表取締役社長

磨 秀晴

トッパンのDX「Erhoeht-X™（エルヘートクロス）」の取り組み

トッパンは、中期経営計画(2021年4月～2023年3月)のなかで、重点施策の一つである事業ポートフォリオ変革の柱に「DX(デジタルトランスフォーメーション)」を位置づけ、また中長期目標として、2026年3月期の連結営業利益に占めるDX事業の構成比を30%に高める方針を掲げています。

この戦略推進に向けて、このたびトッパンのDX推進におけるブランドコンセプトを改めて定義し、「Erhoeht-X™(エルヘートクロス)」と名づけました。本特集では、創業の原点を踏まえてデジタル新時代のビジネス変革をめざす、トッパンならではのDXについてお伝えします。

「Erhoeht-X™(エルヘートクロス)」とは

「Erhoeht-X™(エルヘートクロス)」は、お客さまや社会のデジタル変革を支援するとともに、トッパンそのもののデジタル変革を加速させる、というトッパンのDXを表したブランドコンセプトです。「エルヘート」の名は、創業の原点である「エルヘート凸版法」に由来し、ドイツ語で「高める」を意味する「Erhöhen(エルホーヘン)」が語源です。また、「クロス」の語には、最新のデジタル技術と進化する「印刷テクノロジー」を掛け合わせ、トッパンならではのハイブリッドなDX事業を展開していく決意が込められています。創業から約120年の時を経て、トッパンはかつてのイノベーションに匹敵するデジタル領域での革新に挑みます。



DX事業の推進 —「デジタル」と「オペレーション」の融合によるハイブリッドDXサービスを提供—

トッパンでは、DX事業をデジタルサービスの提供だけでなく、デジタル時代に対応したお客さまのビジネス革新や社会変革を総合的に支援する事業として推進しています。それを可能にするために、トッパンの持つデジタル技術と、従来のBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業で培ってきた高度なオペレーションのノウハウを融合し、AIによるデータ分析や各種データの利活用を機軸としたハイブリッドなDXサービスの提供を進めています。

お客さまがユーザーとつながる「フロントエンド」においては、トッパンの技術を活かした各種デジタルサービスを提供し、それに関連した処理業務などの「バックエンド」においては、高度な運用ノウハウや業務設計・コンサルティング力を活かしたオペレーション代行で対応します。これが「デジタル」と「オペレーション」の融合によるハイブリッドDXサービスであり、基本的なビジネスモデルと位置づけ、現在は「デジタルBPO」や「マーケティングDX」、「流通DX」、「製造DX」などに展開されています。

● DX事業の基本的なビジネスモデル



TOPICS

伸長するトッパンの「デジタルBPO」

企業・団体が効率化追求のために業務プロセスを外部委託するBPOの需要が高まっており、さらに働き方改革などの社会情勢のなかでBPO市場は拡大しています。トッパンはこの領域で高い評価を得ており、特にデジタルとオペレーションを融合させたハイブリッド型BPOサービスの「デジタルBPO」は成長が期待されます。

自治体における行政手続き等は、今後ますますデジタル化が進展するでしょう。トッパンでは、各種デジタルサービスに加え、管理・運用でも高度なオペレーションノウハウを活かしたアウトソーシングサービスを提供し、トッパン独自の「デジタルBPO」で貢献します。

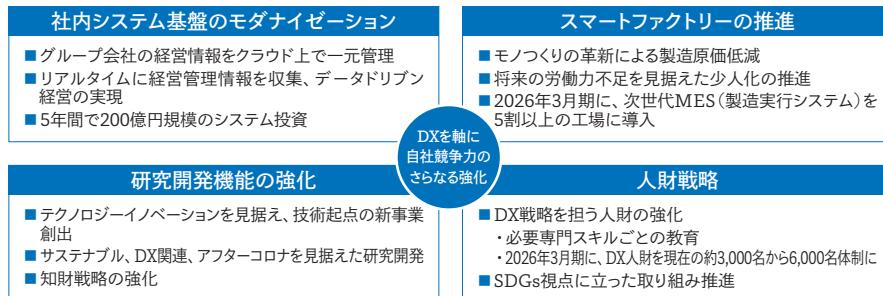
<デジタルBPO>



■ 自社DXの取り組み —DXを軸とした経営基盤の強化—

「Erhoeht-X™(エルヘートクロス)」の推進においては、トッパン自体のデジタル変革も重要な取り組みとして位置づけています。社内システム基盤をはじめ、工場などの製造面、また研究開発や人材戦略などの自社業務にもDXを適用し、高度化することで、事業を支える土台をさらに強固なものにしていきます。ビジネスとして社会やお客さまのDXを支援するという攻めの側面と、こうした経営基盤強化という守りの側面を両輪としながら、トッパンは全社をあげてDXの取り組みを加速していきます。

● DXによる経営基盤強化



TOPICS

「DX認定事業者」 「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) 2021」に選定

DXと経営を一体化させる取り組みが評価され、2021年4月には経済産業省が定める「DX認定事業者」に、また、同年6月には経済産業省と東京証券取引所による「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) 2021」に選定されました。

2021 / 4 → 9月

- 4月 1日 新CM『すべてを突破する。TOPPA!!!TOPPAN』放映開始
大泉洋さん・成田凌さんがCMキャラクターに！ 1
- 4月 5日 経済産業省が認定する「DX認定事業者」に選定
- 4月 5日 凸版印刷とNICT、耐量子ー公開鍵暗号の技術確立に関する共同研究契約を締結
- 4月 6日 凸版印刷とISARA、ICカードへの耐量子ー公開鍵暗号実装に向けて連携 2
- 4月 16日 「トッパン抗ウイルス・抗菌クリアシート」を開発
- 5月 14日 凸版印刷とサイバーリンクス、流通DX分野で業務提携
- 5月 28日 デジタルピッキングシステムのアイオイ・システムを子会社化
- 6月 3日 沖縄県に次世代DX開発拠点 第二弾を開設
- 6月 8日 「IT導入補助金2021」の支援事業者に採択
- 6月 8日 「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) 2021」に選定 3
- 6月 14日 凸版印刷とENEOS、古紙バイオエタノール事業で協業検討開始 ESG



1



2



DX銘柄2021
Digital Transformation

3

2021年7月12日発表

軟包装パッケージをWEBで受注する 「EASY ORDER PACK™」販売開始

ESG

当社は、軟包装分野で小ロット多品種生産に最適なパッケージを提供するトータルソリューション「トッパンFP (Flexible Packaging) デジタルソリューション」を2016年より提供しています。そして、このたび、レトルト食品や健康食品、お菓子、ペットフードなどの軟包装パッケージをデジタルプリントを用いて最小ロット1,000枚からWEB注文が行えるWEB通販パッケージ印刷サービス「EASY ORDER PACK™」の販売を開始しました。本サービスは、生産のスピードアップや、小ロット対応により余分な在庫を作らず、廃棄ロス削減も実現します。

「EASY ORDER PACK™」の受付URL <https://www.toppan.co.jp/biz/easy-order-pack/>



EASY ORDER PACK

パッケージを **必要な分だけ** 簡単オーダー

<p>従来</p> <ul style="list-style-type: none"> オリジナルパッケージはロットが大きい オリジナル包装資材入庫・注文作業は手際がかかる レトルト対応商品は、展示会時など期切込にラベル対応がほとんど 	<div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;"> <p>EASY ORDER PACK</p> <p>最小ロット 1000 枚から制作可能！</p> <p>WEB だから入稿・注文が 24 時間いつでも可能</p> <p>レトルト対応パッケージでも版が不要でオリジナルデザインが可能に！</p> </div>
--	---

ESG 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) 関連の取り組み

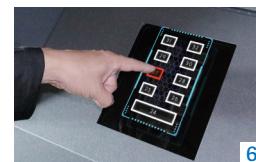
- 6月 24日** 店頭プロモーションをしながら購買行動データを取得できる「リアルDATAサイネージ™」を提供開始
- 7月 12日** 軟包装パッケージをWEBで受注する「EASY ORDER PACK™」販売開始 **ESG**
- 7月 28日** 米国パッケージメーカーを買収
- 8月 4日** FTSE Russell やMSCIが提供する世界的ESG投資インデックスの構成銘柄に継続選定 **4** **ESG**
- 9月 3日** デジタルプリントによるレトルト殺菌対応パウチの開発で日本包装技術協会主催「木下賞」を受賞 **5** **ESG**
- 9月 6日** 南アフリカの政府系IDシステムインテグレーターを買収
- 9月 9日** 複数の異種ロボットを一元制御するデジタルツイン・ソリューション「TransBots™」を開発
- 9月 15日** 空中タッチディスプレイを新方式により大幅改良、視野角が2倍に **6**
- 9月 17日** 包材向けのハイバリア紙を開発 **ESG**



4



5



6

2021年7月28日発表

米国パッケージメーカーを買収

— InterFlex Groupを買収し、欧米におけるコンバーティング事業に本格参入 —

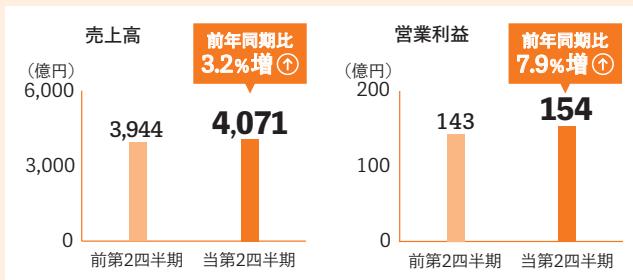
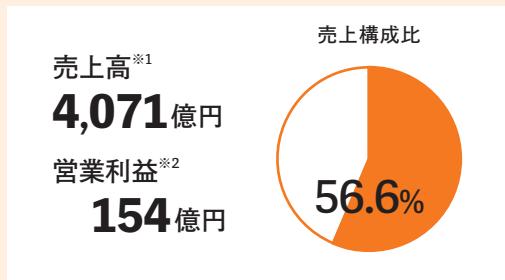
当社は、Interflex Investment Partners, LLC (本社：米国ノースカロライナ州) の100%子会社で、食品などの軟包装事業を展開するInterFlex Groupの株式譲渡契約を締結し、2021年7月23日に100%子会社化しました。

本買収により、米国で生産する世界トップシェアの透明蒸着バリアフィルム「GL BARRIER」と、InterFlex Groupが持つ製袋などのコンバーティング拠点を融合させ、欧米市場においても、モノマテリアル材料を含めた包装材料から最終製品までをワンストップで提供できるグローバルパッケージメーカーとなることをめざします。

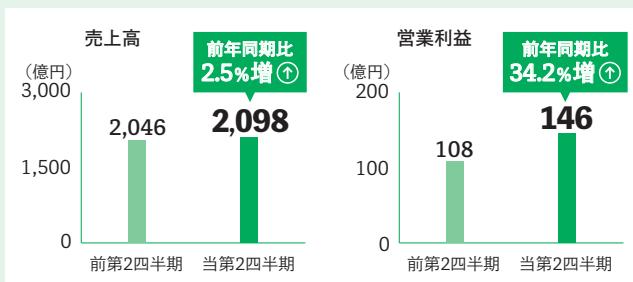
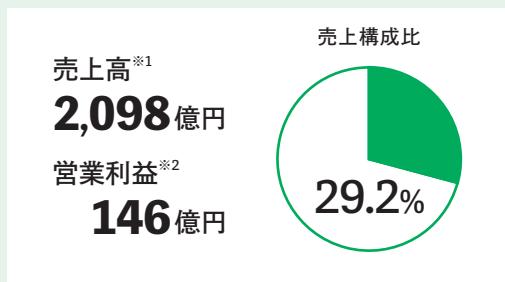


セグメント別概況

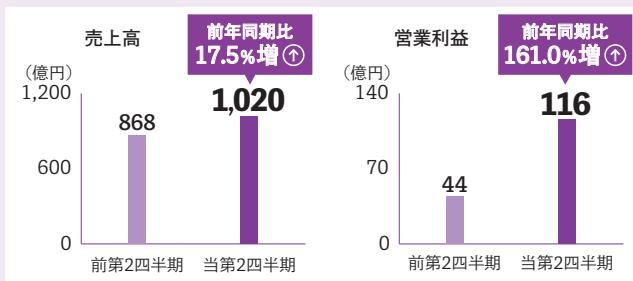
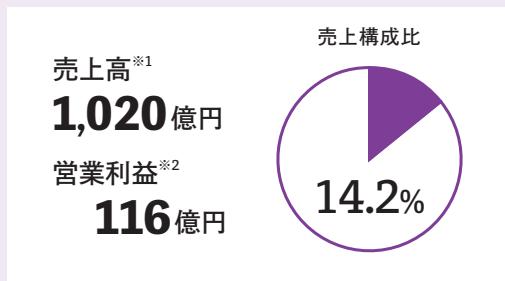
■ 情報コミュニケーション事業分野



■ 生活・産業事業分野



■ エレクトロニクス事業分野



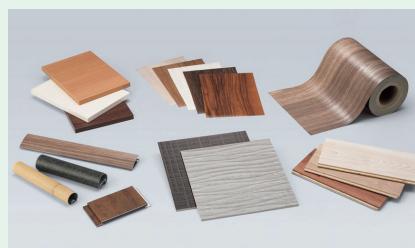
※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費用調整前の数値で計算しています。

セキュア関連は、ICカードが減収、ビジネスフォームも減収でしたが、データ・プリント・サービスは前年並みとなりました。コンテンツ・マーケティング関連は、出版印刷は雑誌・書籍が引き続き減少した一方で、デジタルコンテンツの増加や、前年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で急減したSP関連ツールの反動により、全体では増収となりました。BPO関連は、企業や政府・自治体のアウトソーシング需要を取り込み、好調に推移しました。以上の結果、情報コミュニケーション事業分野全体では増収増益となりました。



BPO

パッケージ関連は、軟包装材は加工食品や衛生製品向けで前年度の反動により国内は減少した一方、海外はインドネシアの販売拡大により増収となりました。紙器はトイレタリー関連が減少し、減収となりました。建装材関連は、国内は店舗などコマース市場の回復が遅れた一方、住宅市場の緩やかな回復や高意匠・高機能化粧シートの販売が拡大し、また海外は家具などインテリア向け化粧シートの販売が好調で増収となりました。以上の結果、生活・産業事業分野全体では増収増益となりました。



建装材

半導体関連は、フォトマスクは5G・AIなどを背景に幅広い用途で半導体需要が拡大し、好調に推移しました。FC-BGA基板は高付加価値品を取り込み、増収となりました。ディスプレイ関連は、カラーフィルタは車載向け需要が回復基調にあるものの、事業譲渡の影響で減収となりました。反射防止フィルムはテレビ、ノートPC、モニター向けが拡大し、好調に推移しました。中小型TFT液晶パネルは、車載・産業機器向けの需要回復で増収となりました。以上の結果、エレクトロニクス事業分野全体では増収増益となりました。



フォトマスク

株式情報

2021年9月30日現在

発行済株式数 349,706,240株
株主数 37,208名

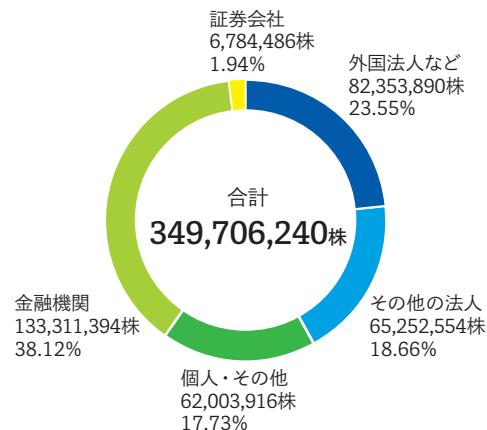
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	50,432	14.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	17,011	5.04
日本生命保険相互会社	15,002	4.45
東洋インキSCホールディングス株式会社	9,492	2.81
第一生命保険株式会社	9,154	2.71
従業員持株会	7,077	2.10
株式会社講談社	6,710	1.99
凸版印刷取引先持株会	5,897	1.75
エスエスピーティーシー クライアント オムニバス アカウント	4,554	1.35
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	4,456	1.32

※自己株式は、上記大株主から除外しています。

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

株式分布状況(所有者別)



※自己株式12,394千株は、「個人・その他」に含まれています。

会社概要

2021年9月30日現在

社名	凸版印刷株式会社
本社事務所	〒112-8531 東京都文京区水道1-3-3 電話：03-3835-5111(代表) URL：https://www.toppan.co.jp/
会社設立	明治33年1月17日
株式会社に組織変更	明治41年6月4日
資本金	104,986,430,314円
従業員数	連結 53,908名

取締役および監査役

代表取締役会長	金子 眞 吾	社外取締役	中林 美恵子
代表取締役社長	鷹 秀 晴	常任監査役	高宮城 實明
代表取締役副社長執行役員	大久保 伸一	監査役	久保 蘭 到
取締役専務執行役員	坂井 和 則	社外監査役	重松 博之
取締役常務執行役員	黒部 隆	社外監査役	垣内 恵子
取締役執行役員	真島 宏 徳	社外監査役	笠間 治 雄
社外取締役	野間 省 伸		
社外取締役	遠山 亮 子		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	1単元の株式の数	100株
定時株主総会	毎年6月	公告の方法	電子公告により、当社ウェブサイト (https://www.toppa.co.jp/)に掲載 いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告 によることができない場合は、官報に掲載 いたします。
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券コード	7911
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
・お問い合わせ先	TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)		
・郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号		

〈株式に関するお手続きのご案内〉

お手続き・ご照会の内容	対象	お問合せ先
ご住所・お名前などの変更 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受取方法・振込先のご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	証券会社に口座を開設されている株主さま 証券会社に口座を開設されていない株主さま (特別口座)	口座を開設されている証券会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送などに関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	すべての株主さま	

Information

▶ 印刷博物館からのお知らせ

常設展のご案内

書物、活字、ポスター、機械など当館所蔵資料を公開し、印刷が築いてきた歴史や文化、技術を体系的に捉え、文明史的なスケールで迫る展示です。

開館時間 10:00～18:00

休館日 毎週月曜日(ただし祝日/振替休日
の場合はその翌日)、年末年始

※印刷博物館のポッドキャスト「いんばくポッドキャスト」がスタートしました。常設展解説などの音声を配信しています。当館ウェブサイト内の公式SNSページのリンクからご利用いただけます。



企画展示 P&Pギャラリー「世界のブックデザイン2020-21」展
会期 2021年12月18日(土)～2022年4月10日(日)

印刷博物館ウェブサイトURL <https://www.printing-museum.org/>

▶ 株主優待カレンダーについて

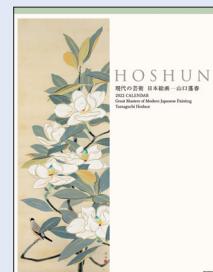
当社では、2021年3月末時点で5単元株(500株)以上をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は「現代の芸術 日本絵画—山口蓬春」と題し、明るくモダンな造形を追求した山口蓬春の作品をお楽しみいただけるカレンダーを12月上旬頃にお届けする予定です。なお、万一、12月中旬を過ぎても届かない場合は、下記の電話番号までお問い合わせください。

電話番号 0120-108-194

受付期間 2022年1月21日(金)まで

受付時間 9:00～17:30(月～金曜日)

※土・日・祝日および年末年始(12/29～1/3)は除く。
※メールでのお問い合わせは受け付けておりません。



2022年版株主優待カレンダー
(デザインは変更になる場合があります。)

表紙について | オリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より

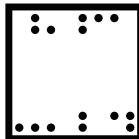
雪化粧まとう冬の「富士山」

自社の映像クリエイターが撮影した日本各地の美しい風景等のオリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より、今号の表紙は純白の雪の衣をまとい優美に佇む冬の「富士山」です。



表紙の映像を
ぜひ「AReader」でご覧ください。

スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google Playストア」でアプリ「AReader」を検索し、ダウンロード（無料）。「AReader」を起動し、右記のARマーカにかざすと表紙に関連する映像がご覧いただけます。



※本画像は、高品質4K映像 (Printeractive 4K) から切り出したものです。



Meet Japan!

凸版印刷株式会社

<https://www.toppan.co.jp/>

